

豚健全育成のための

イムノバイオティクスと
抗病性改良DNAマーカーの活用

新戦略



2023

11.1 (wed)

13:00 ▶ 17:30 (受付・登録 12:30開始)

交流会 18:00 ▶ 20:00 (会費 6,000円)

参加費
無料

(事前登録制)

場所

主婦会館プラザエフ 7階会議室「カトレア」

〒102-0085 東京都千代田区六番町15

【JR 四ッ谷駅 麴町口から徒歩1分 / 東京メトロ 四ッ谷駅から徒歩3分】

Zoomとの
ハイブリッド
開催

プログラム

総合司会：上西博英（農研機構）

13:00~13:10	主催者および来賓挨拶	
13:10~13:40	特別講演：畜産業の課題と将来展望	眞鍋 昇（大阪国際大学）
13:40~13:55	プロジェクトの概要説明	北澤春樹（東北大学）
13:55~15:10	【第1部】イムノバイオティクスの開発と利用	座長：北澤春樹
13:55~14:20	イムノバイオティクス研究と将来性	須田義人（宮城大学）
14:20~14:45	イムノバイオティクスが豚の腸内細菌叢や代謝産物に及ぼす影響	宗田吉広（農研機構）
14:45~15:10	イムノバイオティクスの実用化に向けて	犬童優樹（エス・ディー・エス バイオテック）
15:10~15:25	～休憩～	
15:25~16:35	【第2部】抗病性改良 DNA マーカーの開発と利用	座長：上西博英
15:25~15:50	遺伝子の機能解析に基づいた豚の抗病性改良 DNA マーカーの開発	新開浩樹（農研機構）
15:50~16:15	ここまで来た！豚抗病性改良 DNA マーカーの利用の可能性	鈴木香澄（岐阜県畜産研究所）
16:15~16:25	豚の抗病性改良 DNA マーカーの受託解析について	伊藤智仁（家畜改良事業団）
16:25~16:45	国内の種豚の現況と求められる要素について	小磯 孝（日本養豚協会）
16:45~17:00	～休憩～	
17:00~17:25	【第3部】パネルディスカッション	司会：上西博英
17:00~17:25	総合討論	
17:25~17:30	閉会の挨拶	北澤春樹（東北大学）

参加登録用 URL

10月10日(火)まで (交流会ご参加の場合)

10月31日(火)まで (交流会ご欠席の場合)

下記サイトより登録をお願いします。

<https://forms.office.com/r/uXfG39heHf>



【オンライン参加の方への注意事項】

※開催日の前日までに視聴方法や注意事項などをご連絡いたします。
※視聴方法の転送不可 (参加ご希望の方は個別にお申し込みください。)



本シンポジウムの成果は、JRA（日本中央競馬会特別振興資金助成事業）および生物系特定産業技術研究支援センター（イノベーション創出強化研究推進事業）の助成によるものです。

【問い合わせ事務局】 農研機構 生物機能利用研究部門

Mail pig-sympo2023@ml.affrc.go.jp

TEL 029-838-6146 (担当：小川)

主催 国立大学法人 東北大学 大学院農学研究科

国立研究開発法人 農業・食品産業技術総合研究機構（農研機構）

後援 日本中央競馬会 / 公益社団法人 畜産技術協会 / 一般社団法人 日本養豚協会

一般社団法人 日本科学飼料協会 / 国産純粋種豚改良協議会

